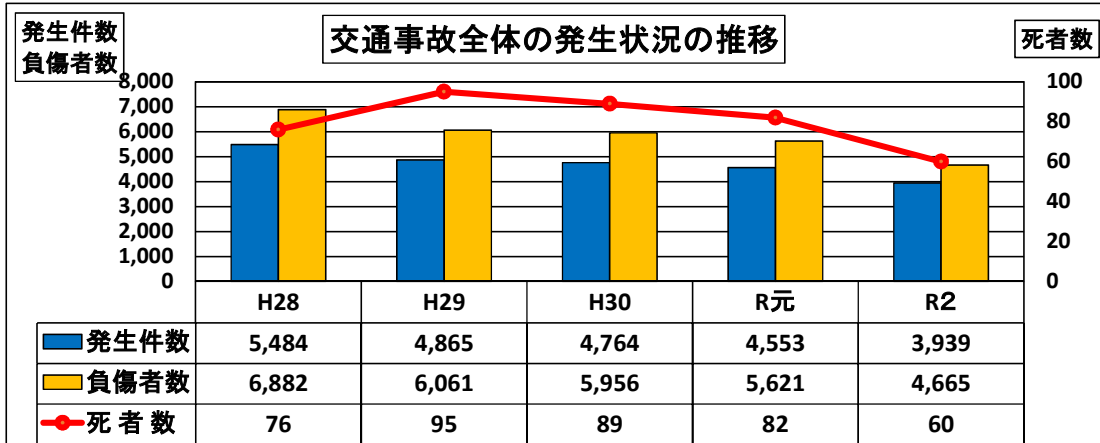


条例の必要性について

第1 県内の交通事故発生状況

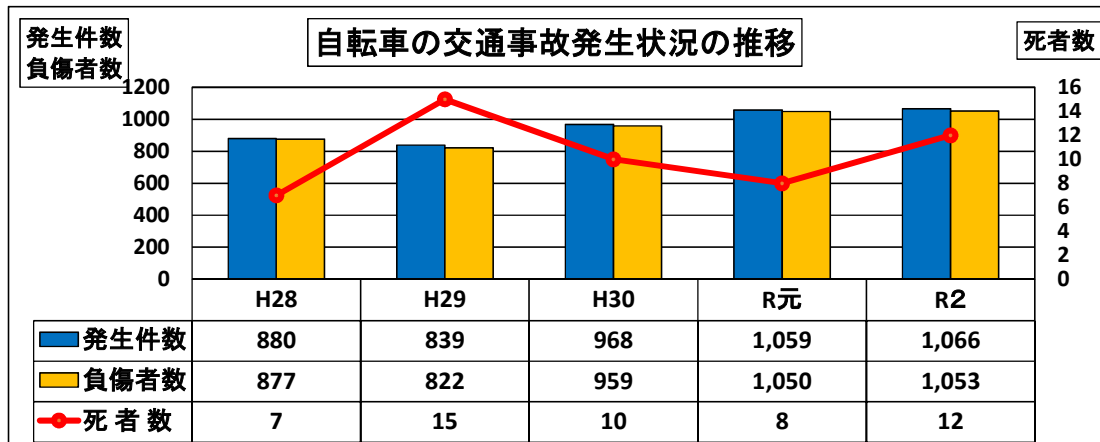
1 交通事故全体の発生状況

交通事故全体の発生件数・死者数・負傷者数とも、前年より減少した。



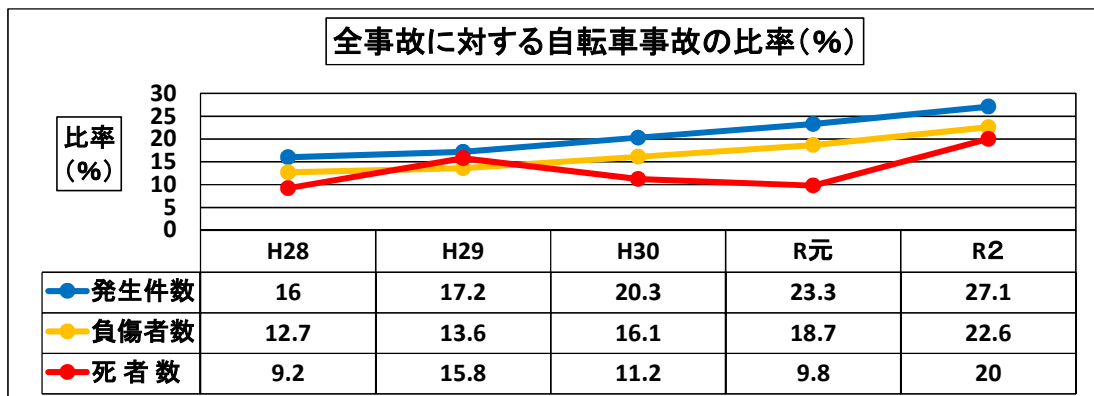
2 自転車の交通事故発生状況

自転車の交通事故は、発生件数・死者数・負傷者数とも、前年より増加した。
死者数は、12人(前年比+4人)と全死者(60人)の2割を占める。



※ 全事故に対する自転車事故の比率(%)

全事故に対する自転車事故の比率は、発生件数・負傷者数が増加傾向にある。



3 自転車事故の特徴（令和2年）

(1) 概況

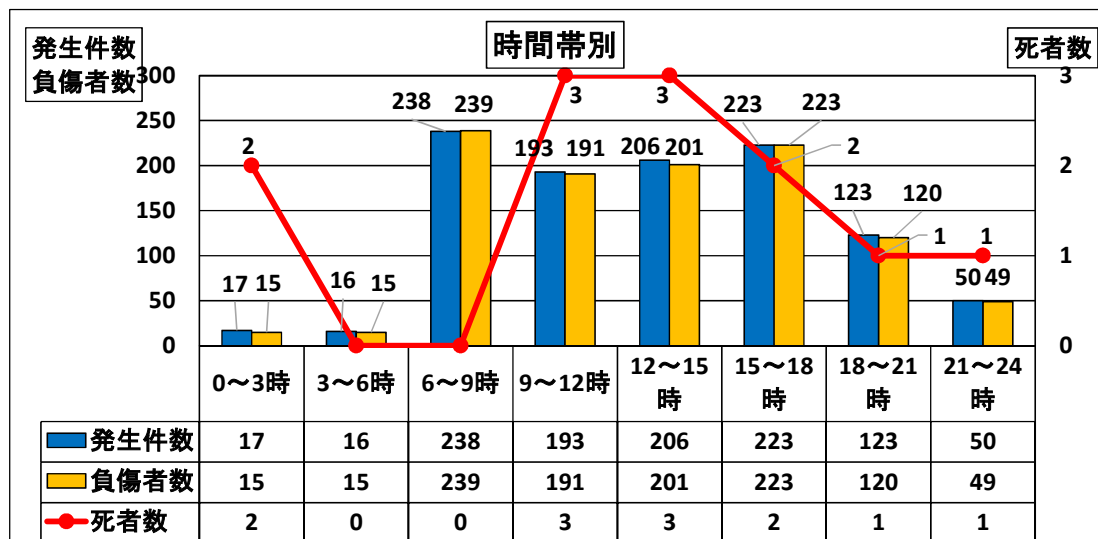
	発生件数		負傷者数		死者数	
		構成率		構成率		構成率
令和2年	1,066	27.1%	1,053	22.6%	12	20.0%
令和元年	1,059	23.3%	1,050	18.7%	8	9.8%
増減数	7		3		4	
増減率	0.7%		0.3%		50.0%	

※ 構成率は、全事故に対する比率を示す。

(2) 時間帯別

○ 時間帯別では、6～9時が最も多い。

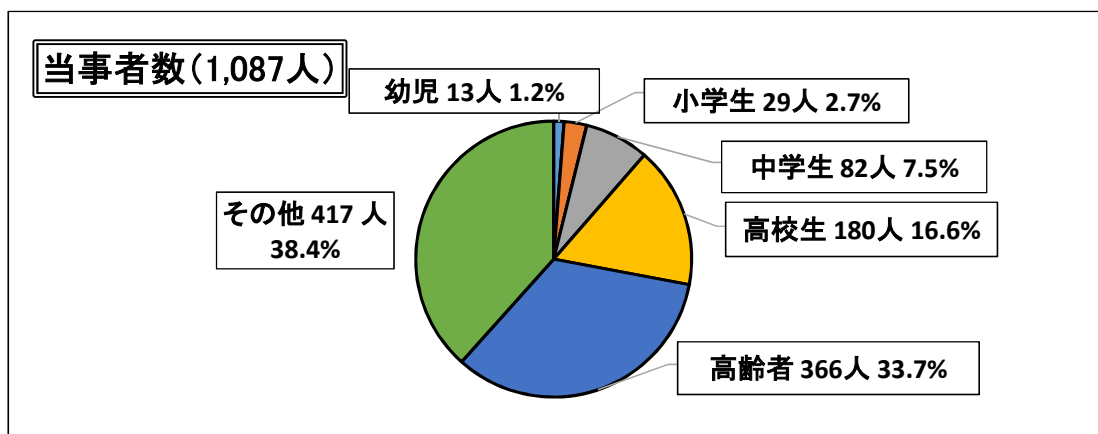
- ・ 6～9時 … 238件(前年比+23件 / 自転車事故の22.3%)
- ・ 15～18時 … 223件(前年比-6件 / 自転車事故の20.9%)
- ・ 12～15時 … 206件(前年比+22件 / 自転車事故の19.3%)



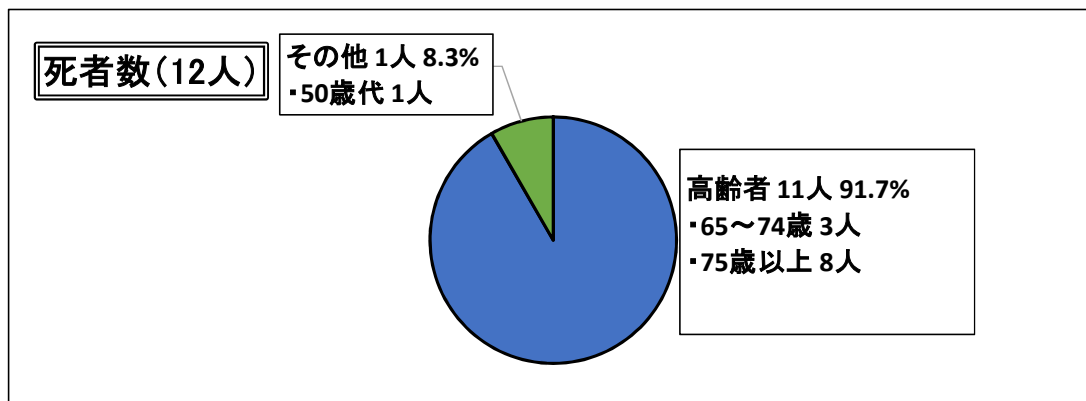
(3) 階層別（当事者数）

○ 階層別に当事者数(1,087人)をみると、高校生と高齢者が多い。

- ・ 高齢者 366人(前年比+39人 / 自転車当事者の33.7%)
- ・ 高校生 180人(前年比+4人 / 自転車当事者の16.6%)
- ・ 中学生 82人(前年比-7人 / 自転車当事者の7.5%)

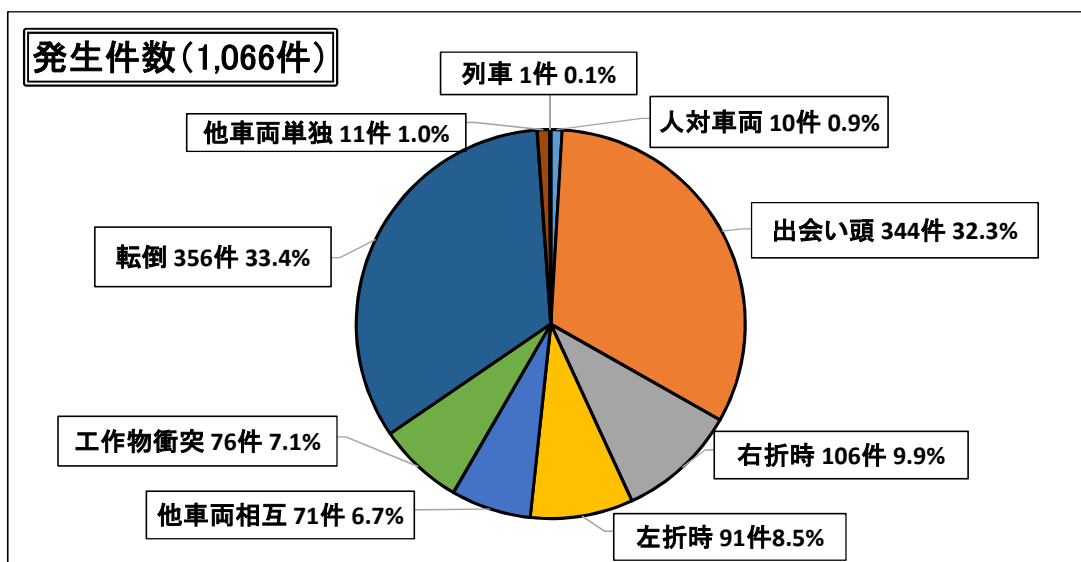


- 死亡事故の階層別では、死者12人中11人が高齢者である。
 - ・ 高齢者 11人(前年比+5人 / 自転車事故死者の91.7%)



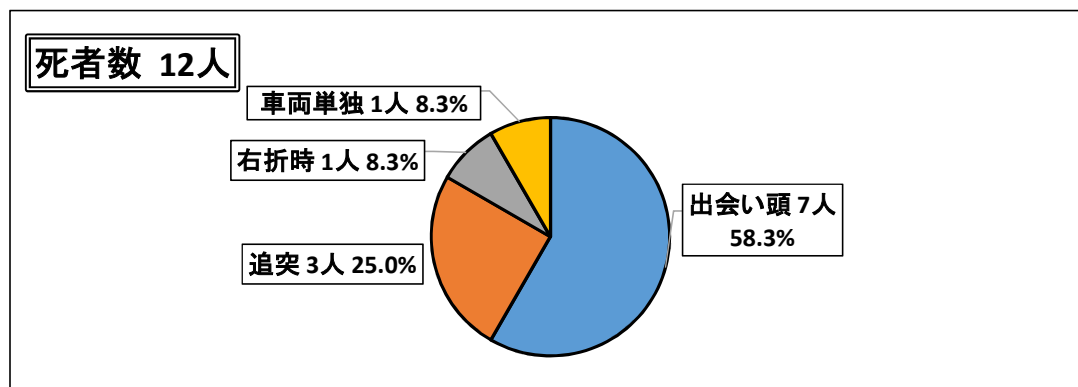
(4) 事故類型別

- 事故類型別では、車両単独が最も多い。
 - ・ 車両単独 443件(前年比+79件 / 自転車事故の41.6%)
 - ・ 出会い頭 344件(前年比-61件 / 自転車事故の32.3%)
 - ・ 右左折時 197件(前年比-2件 / 自転車事故の18.4%)



※ 車両単独は、転倒(356)・工作物衝突(76)・他車両単独(11)の合計を示す。

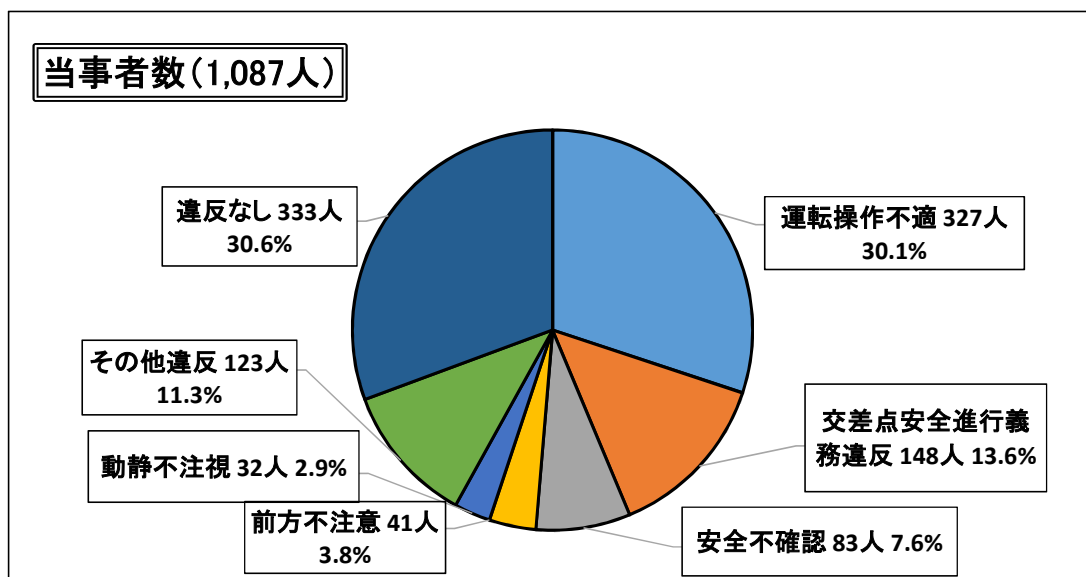
- 死亡事故の事故類型別では、出会い頭が最も多い。
 - ・ 出会い頭 7人(前年比+1人 / 自転車事故死者の58.3%)
 - ・ 追突 3人(前年比+2人 / 自転車事故死者の25.0%)



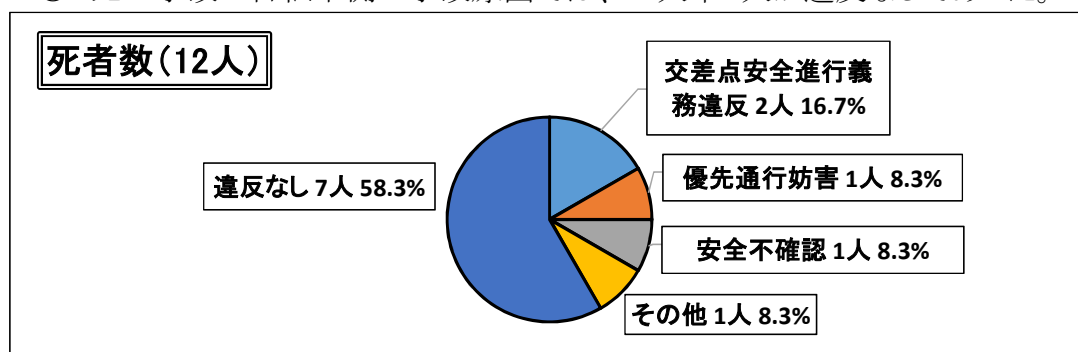
(5) 事故原因別

○ 自転車側の事故原因別では、運転操作不適が最も多い。

- ・ 運転操作不適 327人(前年比+77人 / 自転車当事者の30.1%)



○ 死亡事故の自転車側の事故原因では、12人中7人が違反なしであった。



※ 「自転車×人」の交通事故発生状況

	H28	H29	H30	R元	R2
発生件数	3	11	8	7	10
負傷者数	3	11	9	7	10
死者数	0	0	0	0	0